（別紙１）

補助金・交付金 チェックシート（№.１）

補助金名（交付金名）	函館市文化団体協議会事業補助金	開始年度	昭和３９年度

団体名	函館市文化団体協議会

助成の根拠既定等（条例・規則・要綱等）	函館市補助金等交付規則

○補助事業の内容および目的・効果

内　容	当該団体は，函館市内の文化団体４０団体(H31.4現在)の加盟からなり，文化団体相互の連絡・調整を図り，市民文化の向上を図ることを目的として，市民文化祭や市民文化交歓のつどい，表彰事業，広報誌の発行，ジョイントステージ，ジョイントギャラリー展等を実施している。
目　的	（目　的） 市内の各文化団体の連絡調整ならびに各種文化芸術事業を実施することで，地域の文化芸術の向上に寄与するため。
・効果	（効　果） 函館市民文化祭やジョイントステージ等各種文化事業の開催や加盟する団体の活動を通じて，市民が文化芸術に接する機会を提供するとともに，連合体として本市の文化振興の一翼を担う存在としてその役割を果たしている。

○補助事業の収支状況

（単位：千円）

	年度	助成金		事業収入	会費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収入	26(決算)	2,000		5,433	3,254	241	1,003	11,931
	27(決算)	1,800		3,967	1,324		1	7,092
	28(決算)	1,800		3,859	1,294		1	6,954
	29(決算)	1,800		3,898	1,279		1	6,978
	30(決算)	1,800		4,448	1,128		1	7,377

	年度	人件費	事務費	事業費	上部団体負担金等	予備費等		計
支出	26(決算)	2,280	1,587	7,995	69			11,931
	27(決算)	2,283	678	4,039	72	20		7,092
	28(決算)	2,268	830	3,743	73	40		6,954
	29(決算)	2,264	864	3,680	130	40		6,978
	30(決算)	2,265	721	4,167	174	50		7,377

（別紙２）

補助金・交付金チェックシート（№.２）

補助金名（交付金名）	函館市文化団体協議会事業補助金

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性（明確な公益性があるか） ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☑ ☑ ☑	☐ ☐ ☐	文化団体協議会は，函館市唯一の文化団体の連合体（４０団体加盟）として文化活動を広く推進しており，市民文化祭やジョイントステージ等各種文化事業の開催など，高齢者から子どもまで文化芸術に触れる機会を広く提供し，市民生活の向上に貢献している。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☑	☐	函館市唯一の文化団体の連合体であり，市民に文化芸術に触れる機会を与え，地域文化向上に貢献しているため補助する必要がある。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☑	☐	会員の確保や協賛金･事業収入の増収に努めているほか，事業経費等の見直しを行い効率的な運営に努めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが，施策目的実現に最適か）	☑	☐	市が主体となって運営することはできないため，現在の方法が最適である。

※適・不適であっても，説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は，前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☑	当該補助金は，団体からの要望に基づき，団体の活動目的や活動内容を確認した上で，教育政策的な意図を以て支出していることから，積算基準を定めていない。
4	補助割合は，補助対象経費の１／２以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている（最低でも前年度の収入を確保しているか）	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は，説明欄に必ず記載してください。

（別紙３）

補 助 金 ・ 交 付 金 チ ェ ッ ク シ ー ト（№３）

補 助 金 名 （交付金名）	函館市文化団体協議会事業補助金

○補助効果の検証

（効果測定方法，具体的な数値等）

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し，効果を測定する。

（達成状況）

平成３０年度は，市民文化祭，ジョイントステージ等の開催および加盟団体主催事業の後援を行った。また，小・中・高等学校に芸術家等が出向き，子どもたちに文化芸術のすばらしさや楽しさを体感してもらうことを目的とした「文化芸術アウトリーチ事業」では，文化芸術に関する知識と専門性を備えていることで函館市から運営を委託され，年５４回，延べ２，４４２人（平成３０年度実績）の多くの児童生徒に受講してもらい，函館市の文化芸術の向上に大いに貢献した。

※継続事業は，直近の実績　新規事業は，効果のみ記載してください。

（評　価）		（理　由）
十分効果をあげている	☑	
一定の効果をあげている	☐	
効果が疑問である	☐	
その他	☐	

○今後の方向性

☐	現行のまま補助を継続
☑	見直したうえで補助を継続
☐	廃止
☐	その他

（見直しの内容）
事業内容や収支状況等を精査し，補助対象経費の見直しを行う。

（見直しの時期）
令和３年度

（廃止の理由）

（廃止の時期）

（その他の内容）

○終期の設定

終期設定			次回チェック年度(予定)
令和３年度	☐	終期到来により廃止	令和３年度
	☑	終期到来時に再検討	